

仙台市の幼児教育の**基本目標（目指す子ども像）**について（たたき台）

（基本的な認識）

- ◇社会環境の変化は、ますます激しさを増し、複雑で予測困難となってきている。
- ◇このような時代にあって、子どもたちが様々な変化や困難を乗り越え、自分らしく生き生きと充実した人生を送ることが我々の願いである。
- ◇そのためには、子どもたちが、変化に柔軟に対応し、自分の夢や希望に向かって未来を切り拓いていく、たくましく生きる力を身に付ける必要がある。
- ◇幼児期においては、子どもの主体的な活動を通して、子どもが自分の可能性を信じて自分で考え、自分で行動するという経験を多く重ねることが重要である。
- ◇安定した情緒の下で存分に自己発揮をすることにより、子どもの自己肯定感や自己有用感が高まり、変化や困難な状況に対しても、前向きに向かっているという気持ちが醸成される。
- ◇子ども一人ひとりの発達の特性に応じて、その子らしさを大切にしながら適切な時期に適切な支援を行うことにより、その子の可能性を最大限に引き出すことができる。

【基本目標（目指す子ども像）（たたき台）】

心身ともに健やかで、自分自身で未来を切り拓いていく力を持つ子ども